

山陰近畿自動車道における取り組みと整備効果

兵庫県土木部 道路企画課・道路街路課

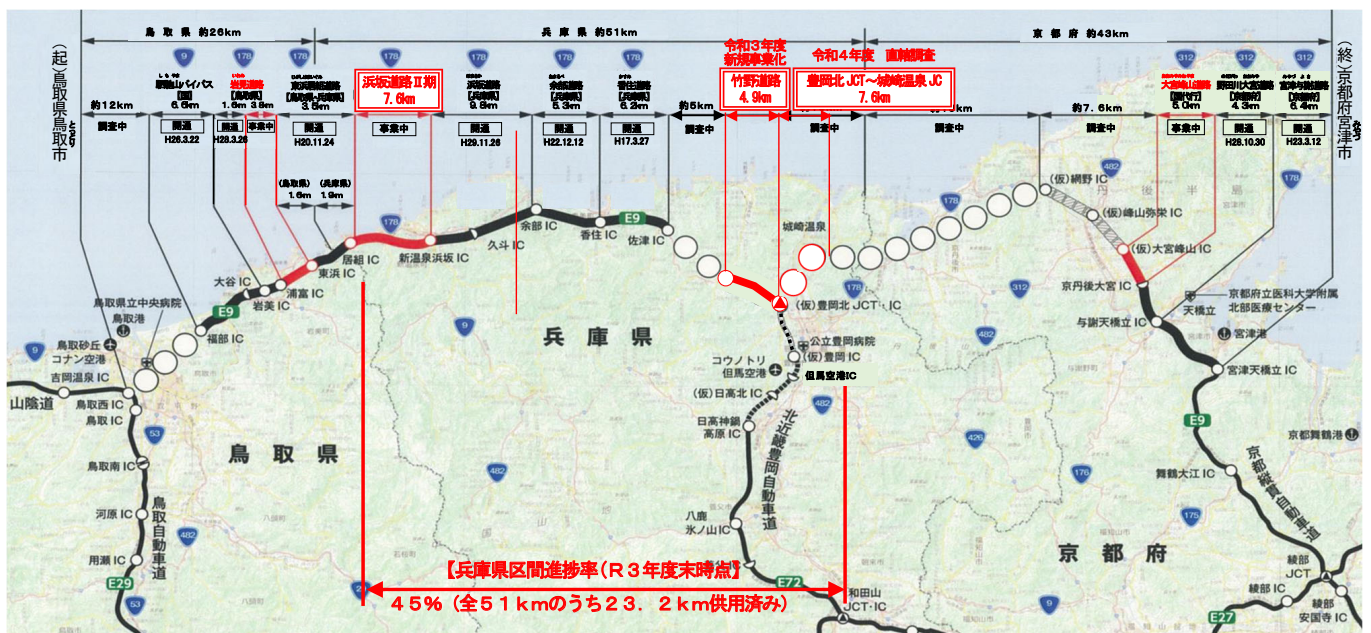
1. 概要

山陰近畿自動車道は、鳥取県鳥取市から本県但馬地域を經由し、京都府宮津市に至る総延長約 120km の高規格道路で、日本海国土軸の一翼を担う重要な路線です。また、平成 31 年 3 月に策定された「ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画」でも、山陰近畿自動車道は基幹道路八連携軸の日本海沿岸軸に位置づけられており、広域的な循環ネットワーク形成と地域の交流・連携の促進、安全・安心の向上に資する道路として重要な役割が期待されています。兵庫県内は約 51km で、日本海側の高速道路網のミッシングリンクの解消とともに、国道 178 号のバイパスとして順次整備を進め、約 4 割の 23.2km が開通済みです。

2. 事業経過

平成 6 年に地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」として計画路線に指定され、同年に香住道路（佐津 IC～香住 IC）が事業化、平成 17 年には但馬北部で初めての自動車専用道路として 3 府県で最初に開通しました。

この香住道路を皮切りに、平成 20 年には東浜居組道路（居組 IC～東浜 IC）、平成 22 年に余部道路（香住 IC～余部 IC）、平成 29 年に浜坂道路（余部 IC～新温泉浜坂 IC）が開通しており、現在、浜坂道路Ⅱ期（7.6km）及び竹野道路（4.9km）の 2 区間が事業中です。また、佐津 IC～(仮)竹野 IC 及び(仮)豊岡北 JCT・IC～(仮)城崎温泉 IC を含む(仮)豊岡北 JCT・IC～府県境の計約 15km は事業化されていません。



3. 事業の目的と効果

山陰近畿自動車道は、本県の基幹道路八連携軸の日本海沿岸軸として、環日本海地域の交流を強化し、広域高速道路ネットワークを形成する重要な道路です。本道路の整備により、①高速道路ネットワークの形成、②広域観光交流圏を拡充・強化、③地域の安全・安心の向上などの効果が期待されており、1日も早い全線開通が望まれています。

これまでに、佐津 IC から新温泉浜坂 IC までが開通したことより、桃観峠などの交通の難所が解消し、豊岡市～新温泉町間の移動時間は、80分から54分に大幅に短縮されました。全線が開通すれば、豊岡市～新温泉町間は約30分、豊岡市～鳥取市間は約60分で移動可能となり、但馬の生活圏や交流圏がますます拡大することが期待されます。

【目的と効果】

① 高速道路ネットワークの形成

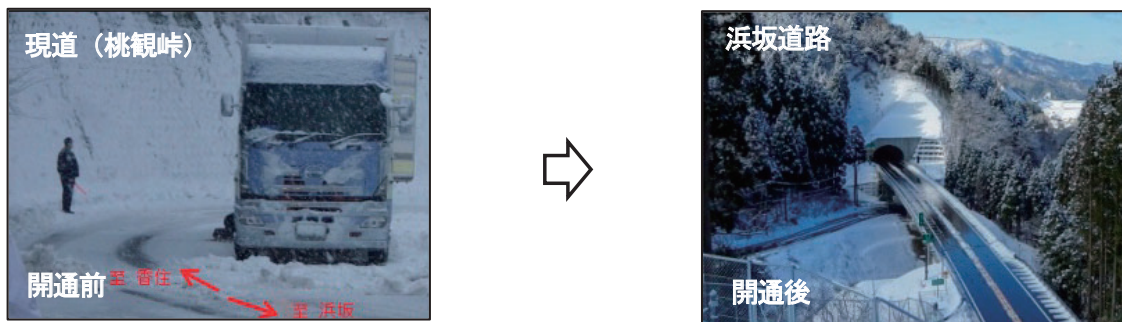
- ・日本海側の高速道路網のミッシングリンクの解消
- ・北近畿豊岡自動車道と鳥取道のダブルネットワークの形成により、大規模災害時の緊急支援物資の輸送ルートの確保や災害復旧の迅速化

② 広域観光交流圏の拡充・強化

- ・山陰海岸ジオパークをはじめとする多様な観光拠点・観光資源へのアクセス向上
- ・広域観光交流圏を拡充・強化し、交流人口を拡大

③ 地域の安全・安心の向上

- ・3次救急医療病院（豊岡病院、鳥取県立中央病院）へのアクセス性を強化し、地域の医療環境を向上
- ・線形不良や降雪時の通行不良など、一般道の課題解消による安全・安心な交通の確保



【浜坂道路開通による効果（桃観峠）】

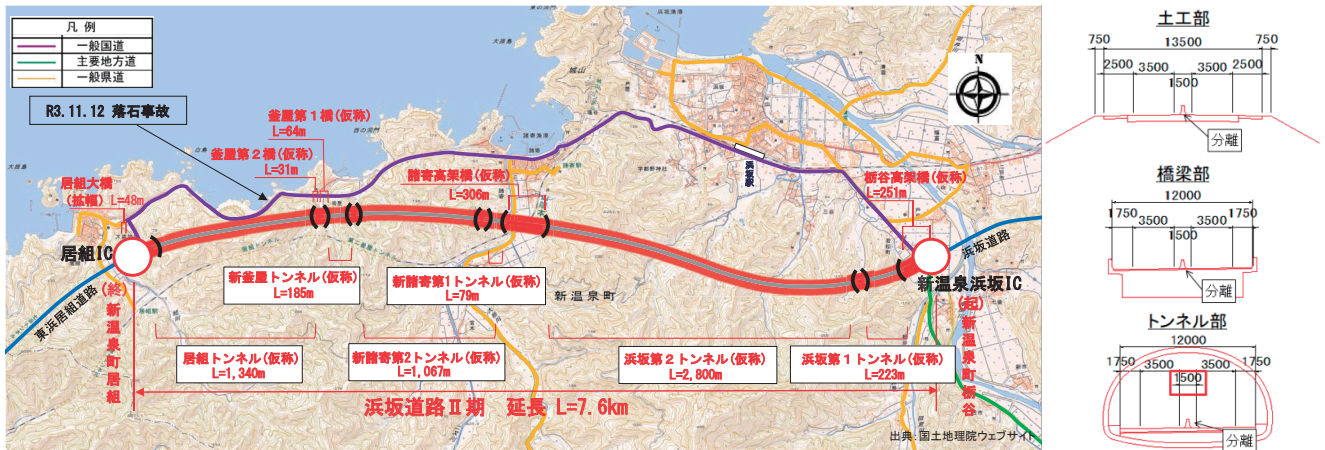
4. 事業中及び計画中区間の概要

(1) 浜坂道路Ⅱ期

平成30年度から浜坂道路Ⅱ期（新温泉浜坂 IC～居組 IC）に着手しています。現在、用地買収が99%進み、栃谷地区で栃谷高架橋等の橋梁下部工事や、諸寄地区で浜坂第2トンネル（東工区）工事、釜屋地区で釜屋第1、第2高架橋下部工事、居組地区の居組 IC 改良工事など、全地区で工事着手し、工事が本格化しています。引き続き、新釜屋トンネル工事や釜屋第1、第2高架橋上部工事なども着工準備を進めています。

【計画概要】

- ① 延長・幅員：L=7.6km、W=7.0m (13.5m)〔第1種第3級 (完成2車線 設計速度80km/h)〕
- ② 主要構造物：トンネル6本 (約6km 全延長の8割)、橋梁5橋



【浜谷高架橋下部工事】



【浜坂第2トンネル工事 (東工区)】



【居組IC改良工事】

(2) 竹野道路

竹野道路は、(仮称)豊岡北JCT・ICと(仮称)竹野ICを結ぶ道路で、令和3年度に新規事業化しています。現在、三次元点群測量、土工の三次元設計、道路詳細設計、橋梁予備設計などを実施中です。

【計画概要】

- ① 延長・幅員：L=4.9km、W=7.0m (13.5m)〔第1種第3級 (完成2車線 設計速度80km/h)〕
- ② 主要構造物：トンネル2本 (約3km 全延長の6割)、橋梁3橋

(3) (仮称)豊岡北JCT・IC～(仮称)城崎温泉IC

(仮称)豊岡北JCT・IC～(仮称)城崎温泉ICは県が令和3年度(令和4年2月)に都市計画決定、令和4年度に国による直轄調査が実施される予定です。

豊岡北JCT・ICでは、「竹野道路」と北近畿豊岡自動車道の「豊岡道路Ⅱ期」、(仮称)豊岡北JCT・IC～(仮称)城崎温泉IC間の3本の道路が接続することとなります。豊岡道路Ⅱ期は、令和2年度から国土交通省が事業実施中ですが、豊岡北JCT・ICの整備にあたっては、この3本の道路を同時施行することが望ましく、国との事業調整が非常に重要となってきます。今後、



設計、用地買収、工事など、国と県で役割分担しながら事業推進を図っていきます。

5. 終わりに

令和3年11月22日に、浜坂道路Ⅱ期の事業区間と並行する、新温泉町居組の国道178号で落石事故が発生し、11日間にわたり通行止めとなりました。新温泉町～鳥取方面間の迂回路が国道9号しかなく、通常10分で行き来できる浜坂～居組間が迂回のため60分の遠回りを余儀なくされ、地域の生活や経済活動などに大きく影響しました。「山陰近畿自動車道が完成していれば」という地域の声が多く寄せられ、早期完成の必要性を再認識させられました。

山陰近畿自動車道の早期完成に向けて、県、地元市町など関係者一丸となって取り組んでいきます。